

第 41 回医薬品 GQP・GMP 研究会後記

恒例の日本製薬団体連合会品質委員会主催の第 41 回医薬品 GQP・GMP 研究会は、昨年引き続き Web オンデマンド方式での開催となりましたが、おかげさまで大きなトラブルもなく、盛況のうちに終了しました。今回は 1,138 名の方々にご参加いただきました。ご参加いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

今回は統一テーマとして「製造販売業者／製造業者における医薬品の信頼性向上の取り組み」を掲げて開催しました。厚生労働省医薬・生活衛生局監視指導・麻薬対策課や独立行政法人医薬品医療機器総合機構、長野県、富山県、大阪府の講演を通じて、改正 GMP 省令を含む最近の医薬品の製造管理及び品質管理に係る指導状況等を聴講することにより、適切な品質の医薬品を製造することの重要性を再認識することができました。また、後半の講演は、品質文化、知識管理、GQP・GMP の適切な運用、GMP の実施状況等に係るもので、医薬品の信頼性を向上するための取組に係る情報として今後のご参考にして頂けたのではないかと思います。

2023 年度以降も、適切な品質の医薬品を安定的に患者の皆様にお届けするための重要な情報を提供していきます。ご期待ください。